

令和 2 年度 (第16期) 事業報告

令和 2 年度 (第16期) 決算報告

令和 3 年度 (第17期) 事業計画

令和 3 年度 (第17期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第16期事業報告

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き薬剤を減らした環境に優しい水稻の生産を行うとともに、自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務に取り組んでまいりました。

しかし、市民農園につきましては新型コロナウイルス感染防止対策のため、全面中止としました。

船形地区においては、麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター運營業務、就農支援事業、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運營業務等を行ってまいりました。

また、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

1 江川地区の農業事業

(1) 水稻の生産

江川地区の水田については、圃場の均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

今年度は、水稻を生産した圃場の乾きが良く順調に稲刈りを開始しましたが、9月に強風の影響を受け稲が倒伏し一部収穫を断念した状況でした。

今年度の総収穫量は下記のとおりです

品 種 名	収 穫 量	J A出荷米	一般販売	くず米
コシヒカリ	11,755kg	(1等) 8,730kg	1,560kg	1,465kg

(2) 市民農園

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止としました。

(3) 農業体験学習等協力

1) 地元小学校米作り農業体験学習協力

新型コロナウイルス感染防止対策のため、田植え及び稲の生育観察は中止となりましたが、6年生は最後の農業体験学習となることから、各学校からの要望を受け、感染防止対策を図り、福田第一小学校（5・6年生）の児童23名及び福田第二小学校（5・6年生）の児童19名の合計42名で、9月3日に合同稲刈り体験学習を実施しました。

2) 地元中学校スペシャル・スタディ授業への協力

福田中学校2年生が江川地区をフィールドに理科の環境学習（生態系観察）の授業を実施しており、毎年度講師などの協力要請に対応しております。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため9月までは中止となりましたが、10月24日に実施した授業には協力しました。

3) 中学生職場体験学習協力

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となりました。

2 船形地区の農業事業

(1) 農業生産調整事業

令和2年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション(ブロック3)及び固定団地合わせて約73.1ヘクタールの水田を船形互助転作組合との協議により借地しました。また、借地期間は1年とし、毎年10月1日から翌年9月30日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については更に翌年2月頃まで借用します。

(2) 農業生産

1) 麦栽培

令和元年産麦については、大麦は約12.6ヘクタールに、小麦は約49.6ヘクタールにそれぞれ播種し、令和2年5月から6月にかけて刈取り作業を行いました。

また、遊休農地への作付けは行いませんでした。

収穫の状況については下記の通りです。

区分		J A出荷	種子更新	クズ	総収量
品 種	作付面積				
大麦(カシムギ)	約12.6ha	1等 39.74 t	0 t	1.35 t	41.09 t
小麦(さとのそら)	約49.6ha	2等 166.10 t	0 t	1.83 t	167.93 t
合 計	約62.2ha	205.84 t	0 t	3.18 t	209.02 t

※大麦(カシムギ)500kgにつきましては、焼酎製造用に出荷しました。

ア ブロックローテーション面積

ブロック1 約54.6ha

ブロック2 約57.1ha

ブロック3 約67.9ha

※今年度からブロック3から2へ約1.3haの面積を移しましたので、ブロックローテーション面積が変更になりました。

イ 固定団地面積

船形富士の下 約5.2ha

ウ 遊休農地面積 約3.1ha

2) 大豆栽培

今年度の大豆については、タチナガハを13.6ヘクタールに、フクユタカを11.9ヘクタールに、サチユタカを11.1ヘクタールにそれぞれ播種しました。

その後、雑草抑制のため除草剤の散布や殺菌剤の散布、アブラムシ、ダニ類、コガネムシ、カメムシが異常発生したための防除等、生育状況に合わせた管理を行いました。

通常散布以外に、タチナガハにアカダニが発生したため、10月2日から10月7日までコロマイト乳剤を散布しました。

収穫作業については、タチナガハは11月18日から30日まで、サチユタカは12月1日から10日まで、フクユタカは12月11日から25日までの期間で収穫を行いました。

収穫の状況については下記のとおりです。

区 分		販 売		種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
タチナガハ	13.6ha	2等 26,370kg 3等 900kg	840kg	0kg	1,625kg	29,735kg
フクユタカ	11.9ha	1等 9,930kg 2等 6,120kg 3等 1,620kg	1,620kg	0kg	950kg	20,240kg
サチユタカ	11.1ha	1等 17,760kg 3等 360kg	0kg	0kg	1,000kg	19,120kg
合 計	36.6ha	63,060kg	2,460kg	0kg	3,575kg	69,095kg

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務受託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行ってまいりました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産する農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

更に、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から3月には飼料用米の粳米を粉碎し、SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施しました。

搬入量

- ・剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・約5,118トン
- ・もみ殻回収量・・・・・・・・・・約 780トン

搬出・運搬量

- ・剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約2,587トン
- ・もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・約 955トン

飼料用米粉砕加工（SGS）

- ・加工量・・・・・・・・・・・・約 133トン

(2) 東葛飾地域農林業センター運營業務受託事業

農林業センターは、農林業従事者及びその後継者の農林業の経営、技術等に関する研修等に活用する施設です。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、野田市の指示に基づき、4月1日（前年度の2月29日）から6月7日まで貸館業務を中止するなど、感染防止対策を講じながら施設の運営を行いました。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務受託事業

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できる施設管理を行いました。

園内の管理 受託面積 約1.3ha	
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) 自然環境維持管理業務受託事業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(3) はきだし沼周辺田の整地業務受託事業

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務受託事業

関宿落堀ビオトープの除草作業3回及び月1回の見回りとゴミ拾いを実施しました。

(5) 江川地区保全業務受託事業

野田市からの受託業務で、当社所有地及び耕作をしていない周辺の農地約47ヘクタールにおいて、コウノトリなどの採餌環境を整備しました。

(6) 尾崎地区保全業務受託業務

野田市からの受託業務で、尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させるための除草業務を実施しました。

5 コウノトリ飼育及び施設管理業務受託事業

令和2年4月1日から令和3年3月31日までコウノトリ飼育等業務を受託し、飼育管理を行うとともに、捕獲等飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。

また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

令和2年4月に孵化した雛3羽は、6月2日、3日に巣立ちをしましたが、2羽の雛が7月1日の捕獲時にフェンスに衝突し、死亡しました。残る雛1羽は、「たいよう」と命名され、7月15日に放鳥しました。今回の放鳥も昨年同様ソフトリリースで行いましたが、平成29年に放鳥した「ヤマト」がケージに侵入したため、夕方にはケージの屋根を閉鎖しました。

なお、「ヤマト」はこうのとりの里周辺に滞在を続けたため、飼育個体との関係や影響等の様子を見ながら対策等を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためにコウノトリの一般公開を2月末から中止していましたが、7月28日から一般公開を再開しました。

令和3年の放鳥計画は、兵庫県立コウノトリの郷公園へ卵を移送し、他の園館から有精卵を譲り受けて托卵する計画のため、1月に産卵した卵を擬卵と交換し、時期を見て回収を行い、2回目の産卵時期の調整を行いました。

なお、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの、コウノトリ観察棟入場者は4,306名（来館名簿記入者）でした。

6 就農支援事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産は、人参、キャベツ、ネギ、ミニ白菜、カリールケール、スイスチャード、ビーツ、フェンネル、トレビス、キュウリ、トウモロコシ、メロン、落花生、サツマイモ、ひよこ豆を栽培し総収量43,330.8キログラムをJA出荷及び市内直売所へ出荷しました。

また、人参は5月中旬の出荷を目標に播種しました。

令和2年度就農希望者延べ人数は4名でした。

7 取締役及び他の役員（第16期 令和2年度）

区 分	氏 名	備 考
代表取締役	今村 繁	野田市副市長
常務取締役	木全 敏夫	
取締役	宮前 雅明	野田市建設局長
取締役	宇田川 克己	野田市自然経済推進部長
取締役	伊藤 敏弘	船形事業所長
取締役	相島 一美	総務責任者
取締役	永井 盛雄	江川事業所長
会計参与	秋葉 芳秀	税理士
監査役	濱田 宏志	税理士

8 株式の状況（令和3年3月31日現在）

(1) 株主数・・・・・・・・・・・・・・・・5名

(2) 株主

株主名	持株数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
木全敏夫	2株	0.0322%
伊藤敏弘	1株	0.0161%
永井盛雄	1株	0.0161%
相島一美	1株	0.0161%

9 経過概要

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜 日	主 な 経 過 概 要
4月 1日	水	こうのとりの里臨時休館延長決定（当面の間）
4月 3日	金	兵庫県立コウノトリの郷公園からコウノトリの卵移送
4月 7日	火	コウノトリの雛誕生 8日までに3羽誕生
4月26日	日	市民農園田植え中止（緊急事態宣言により）
5月26日	火	大麦刈取り開始
5月26日	火	定時取締役会書面決議第15期（令和元年度）事業報告及び決算報告書の承認の件、取締役候補者2名選任の件、令和2年度定時株主総会を書面決議とする事の件
5月28日	木	定時株主総会書面決議第15期（令和元年度）事業報告の件、第15期（令和元年度）決算報告書の承認の件、取締役2名の選任の件、役員報酬決定の件
5月31日	日	大麦刈取り終了
6月 3日	水	コウノトリ一斉捕獲
6月 4日	木	小麦刈取り開始
6月 7日	日	市民農園 第1回目草取り・自然観察会中止（緊急事態宣言により）
6月10日	水	令和2年度江川地区市民農園全面中止決定
6月27日	土	小麦刈取り終了
7月 1日	水	コウノトリGPS装着作業 飼育コウノトリ2羽事故死
7月12日	日	小山市コウノトリ幼鳥足環取り付け作業協力 主任飼育員
7月15日	水	コウノトリ幼鳥「たいよう」放鳥
7月28日	火	こうのとりの里観察棟・管理棟再開
7月29日	水	テレビ朝日取材 じゅん散歩 こうのとりの里
8月18日	火	令和2年度8月定時取締役会 書面決議 （報告事項 第16期第四半期（4月から6月）事業報告）
8月20日	木	江川地区 稲刈り開始
9月 3日	木	福田第一小学校23名 福田第二小学校19名の総勢42名にて令和2年度の農業体験学習として稲刈りを実施。
9月15・16日	火・水	生き物調査指導者養成全国研修会 2名参加
9月29日	火	利根運河の生態系を守る会タカの渡り観察会協力
10月24日	土	福田中学校フィールドワーク 2年生
11月18日	水	コウノトリ一斉捕獲研修（多摩動物園 江川事業所3名）
11月25日	水	11月定時取締役会 第16期第2四半期 事業報告・経営状況報告・令和3年度市民農園募集の件
12月 9日	水	コウノトリ一斉捕獲
12月16日	水	大豆検査（タチナガハ、サチユタカ）
12月21日	月	コウノトリ保全に関する有識者会議（レクチャールーム）
3月25日	木	3月定時取締役会第16期第3四半期事業報告・コウノトリ人工巣塔設置に伴うガバメントクラウドファンディングの寄附の件・令和3年度市民農園見合わせの件・第17期（令和3年度）事業計画（案）及び予算（案）の承認の件・準社員及びパートタイマー等就業規則の一部改訂の件・取締役1名を常勤取締役とする件

第 1 6 期

決 算 報 告 書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

株式会社 野田自然共生ファーム
(法人番号:5040001072121)

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

令和 3年 3月 31日

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産 (101,515,407)	I 流 動 負 債 (40,150,321)
現金及び預金	68,131,761	未 払 金	17,065,805
売 掛 金	125,698	未 払 費 用	3,817,023
た な 卸 資 産	22,610,566	未 払 法 人 税 等	161,000
未 収 入 金	10,072,706	未 払 消 費 税 等	1,823,700
未 収 還 付 法 人 税 等	149,000	前 受 金	13,707,621
経 営 安 定 積 立 金	482,676	仮 受 金	586,172
貸 倒 引 当 金	△ 57,000	賞 与 引 当 金	2,989,000
II 固 定 資 産 (242,066,908)	II 固 定 負 債 (13,388,000)
有 形 固 定 資 産 (241,924,648)	長 期 借 入 金	10,400,000
建 築 物	31,844,201	退 職 給 付 引 当 金	2,988,000
構 築 物	2,347,152		
機 械 及 び 装 置	25,186,195		
車 両 運 搬 具	521,149		
工 具、器 具 及 び 備 品	2,427,256		
建 物 附 属 設 備	4,689,950		
土	174,908,745		
無 形 固 定 資 産 (50,000)		
保 証 金	50,000		
投資その他の資産	92,260	負 債 の 部 合 計	53,538,321
出 資 金	10,000	(純 資 産 の 部)	
敷 金・入 会 金	10,000	I 株 主 資 本 (290,060,168)
長 期 前 払 費 用	72,260	1. 資 本 金	100,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (183,032,296)
		(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金 (27,757,296)
		そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金 (7,027,872)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金 (7,027,872)
		繰 越 利 益 剰 余 金	7,027,872
		II 評 価・換 算 差 額 等 (0)
III 繰 延 資 産 (16,174)		
水 道 加 入 金	16,174	III 新 株 予 約 権 (0)
資 産 の 部 合 計	343,598,489	純 資 産 の 部 合 計	290,060,168
		負 債・純 資 産 の 部 合 計	343,598,489

損益計算書

令和2年4月1日
令和3年3月31日

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売上高			
農産物売上高	19,268,976		
業務受託収入	122,016,530		
市民農園収入等	44,091		
作付助成金・交付金			
収入	81,383,655	222,713,252	222,713,252
II 売上原価			
期首たな卸高		0	
当期農業原価		218,696,617	
合計		218,696,617	
期末たな卸高		0	218,696,617
売上総利益			4,016,635
III 販売費及び一般管理費			
販売費及び一般管理費		42,516,576	42,516,576
営業損失			38,499,941
IV 営業外収益			
受取利息		1,996	
一般補助金収入		4,346,700	
受取配当金		50	
雑収入		19,993,625	24,342,371
V 営業外費用			
支払利息		67,117	
繰延資産償却		17,638	84,755
経常損失			14,242,325
VI 特別利益			
固定資産売却益		197,792	
農業経営基盤強化		900,000	
準備金戻			
前期損益修正益		294,888	1,392,680
VII 特別損失			
固定資産売却除却			
損		541,847	541,847
税引前当期純損失			13,391,492
法人税、住民税及			
び事業税		322,301	322,301
当期純損失			13,713,793

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 2年 4月 1日から
令和 3年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	37,000
発 送 配 達 費	341,780
販 売 手 数 料	650,700
イ ベ ン ト 費 用	21,818
役 員 報 酬	9,136,520
事 務 員 給 与	15,948,017
従 業 員 賞 与	2,336,300
法 定 福 利 費	3,235,378
厚 生 費	94,910
退 職 金	288,000
減 価 償 却 費	1,019,542
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	1,274,840
修 繕 費	107,273
事 務 用 消 耗 品 費	1,431,802
通 信 費	2,236,037
水 道 光 熱 費	227,041
租 税 公 課	288,250
寄 付 金	201,800
接 待 交 際 費	12,243
保 険 料	64,650
備 品 消 耗 品 費	1,194,217
管 理 諸 費	1,637,622
一 般 車 両 関 係 費	128,086
函 書 費 ・ 研 修 費	5,991
交 通 費	264,020
貸 倒 償 却	33,000
雑 費	299,739
合 計	42,516,576

たな卸資産の計算内訳

令和 3年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	141,722
原 材 料	49,582
未 収 穫 農 産 物	16,189,552
貯 蔵 品	6,229,710
合 計	22,610,566

農 業 原 価 報 告 書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
期首材料たな卸高	122,387
種 苗 費	3,954,058
合 計	4,076,445
期末材料たな卸高	49,582
当 期 材 料 費	4,026,863
II 労 務 費	
賃 金	72,865,238
賞 与	9,538,600
退 職 金	264,000
法 定 福 利 費	13,807,637
厚 生 費	3,145,379
当 期 労 務 費	99,620,854
III 経 費	
肥料費・農薬衛生	15,090,106
外注作業費	270,764
電 力 費	2,718,977
軽灯油等燃料費	10,846,766
運 賃	39,161
減 価 償 却 費	17,309,866
修 繕 費	22,759,599
租 税 公 課 ・ 負 担 金	1,016,900
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	21,906,422
共 済 掛 金 ・ 保 険 料	1,532,213
諸 資 材 費	15,105,387
農 具 費	1,102,467
交 通 費	1,668,227
函 書 費 ・ 研 修 費	795,334
車 両 関 係 費	2,632,650
土 地 改 良 費 ・ 水 利	2,084,509
雑 費	1,966,091
当 期 経 費	118,845,439
当 期 総 農 業 費 用	222,493,156
期 首 農 産 物 等 棚 卸	12,534,735
合 計	235,027,891
期 末 農 産 物 等 棚 卸	16,331,274
当 期 農 業 原 価	218,696,617

監査報告書

株式会社野田自然共生ファームの第16期(自令和2年4月1日至令和3年3月31日)貸借対照表、損益計算書及び附属明細書について監査した結果、いずれも会社法の規定に準拠し、適正に処理されていると認めます。

令和3年5月13日

株式会社野田自然共生ファーム

監査役 瀬田 宏志 (印) ⑧

第17期 事業計画

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

また、昨年度、全面的に中止となりました水田型市民農園につきましては、新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めた上で開催するか否か判断したいと考えております。

船形地区においては、麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

次に、就農支援事業においては、人参、枝豆、キャベツを中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

続いて、野田市からの委託事業として、堆肥センター運營業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務、東葛飾地域農林業センターの管理業務、農業関係施設の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的な経営に努め、安定した経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く、作付けが困難な状況の場所がありますが、引続き圃場の再整備を図り、収穫量の増加を目指してまいります。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

- 1) 作業内容 ①除草作業
- ②水路の整備作業
- ③均平・整地作業
- ④畦畔整備作業

(2) 水稻生産

- 1) 生産目標面積 約 5.5ヘクタール（市民農園圃場含む）
- 2) 目標収穫量 約 10トン

(3) 市民農園の実施

面積 約 2.1ヘクタール

募集内容 ファミリー型 500区画 オーナー型 40区画

(4) エコロジカルネットワークへの取組み

- コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 水路整備（魚道整備含む）
- 里地里山の保全

(5) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画書に基づき、生物多様性が保全された江川

地区を実現し、これを将来にわたり維持し、江川地区の里地・里山を良好に保全管理するため必要な業務を実施してまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
販路の拡大	販売店舗の拡大・ネットワークの活用	
令和2年産麦生産目標 (令和3年6月収穫予定)	作付面積	70.5ヘクタール
	大麦(カシマムギ)	11.2ヘクタール
	小麦(さとのそら)	59.3ヘクタール
	目標収穫量	173トン
	大麦	29トン
	小麦	144トン
令和3年産麦生産目標 (令和3年11月播種予定)	作付面積	60ヘクタール
	大麦(カシマムギ)	15ヘクタール
	小麦(さとのそら)	45ヘクタール
令和3年産大豆生産目標 (令和3年12月収穫予定)	作付面積	36.9ヘクタール
	タチナガハ	11.2ヘクタール
	フクユタカ	14.2ヘクタール
	サチユタカ	11.5ヘクタール
	目標収穫量	48トン
	タチナガハ	16トン
	フクユタカ	16トン
	サチユタカ	16トン

(2) 枝豆オーナー制度

野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、令和3年度も枝豆オーナー制度に係わる農園を継続して開設いたします。

3 農業関係施設の運営業務

(1) 野田市堆肥センター運営業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布、また、稲わら牛ふん堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいります。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する、もみ米SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）加工作業の協力も含め、令和3年度も継続してこれらの事業を受託しようとするものです。

(2) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務

農林業センターは、農林業従事者及びその後継者の農林業の経営、技術等に関する研修等に活用する施設です。令和3年度も継続してこの施設の管理業務を受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を下記のとおり行っていました。令和3年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(2) 休耕地草刈業務

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈等について、令和3年度も継続して受託しようとするものです。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

平成27年度から受託しており、年3回の草刈及び月1回の見回り等の管理を行っておりますが、令和3年度も継続して受託しようとするものです。

(4) 尾崎地区保全業務委託事業

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させることを目的に尾崎地区保全業務を令和3年度も継続して受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについて、毎年幼鳥が孵化し、6年連続で放鳥するなど順調に飼育管理をしております。

令和3年度も継続してコウノトリ飼育事業を受託しようとするものです。

6 就農支援事業

人参、枝豆、キャベツを中心とした栽培を計画しております。

作付けする面積については、約2.8ヘクタールを借地しておりますが、栽培の状況に応じて更に面積を拡大しようとするもので、売上は年間580万円を目標としております。

また、採用後3年を超える就農希望者には、新規就農に向けた細かな指導を行っております。

第17期 予算

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日 単位:千円

収入				支出				
項目	予算額			項目	予算額			
	第16期	第17期	比較		第16期	第17期	比較	
1 農業生産売上	48,737	50,644	1,907	1 農業製造原価	208,319	201,056	-7,263	
(1) 水稻売上	2,000	2,000	0	(1) 材料費	2,700	3,000	300	
(2) 麦売上	2,800	3,000	200	(2) 労務費	36,641	27,390	-9,251	
(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3) 農業経費	46,848	48,711	1,863	
(4) 市民農園売上/枝豆売上	1,200	700	-500	① 肥料費・農薬衛生費	10,483	11,308	825	
(5) 経営所得安定対策等(国)	35,737	37,944	2,207	② 電力費	1,084	1,100	16	
2 農業受託売上	132,807	133,059	252	③ 軽灯油等燃料費	3,893	4,000	107	
受託業務	① 小船橋水辺公園管理	1,564	1,563	-1	④ 修繕費	3,707	3,740	33
	② 自然環境維持管理業務	7,408	6,400	-1,008	⑤ 賃借料・リース料	1,000	1,210	210
	③ 堆肥センター運営業務	103,106	102,658	-448	⑥ 共済掛金・保険料	1,787	1,624	-163
	(堆肥センター)	56,613	60,104	3,491	⑦ 麦田地賃借料	18,000	19,000	1,000
	(もみ殻施設)	46,493	42,554	-3,939	⑧ 土地改良費・水利権	2,085	2,085	1
	④ 農林業センター運営業務	2,390	2,226	-164	⑨ その他	4,809	4,644	-165
	⑤ 休耕地草刈等	1,353	1,066	-287	(4) 小船橋水辺公園	1,484	1,483	-1
	⑥ コウホリ飼育等委託業務	16,019	18,180	2,161	(5) 自然環境維持	7,028	5,970	-1,058
	⑦ 冬期湛水水田管理委託	600	600	0	(6) 堆肥センター	96,722	95,902	-820
⑧ 関宿落堀ピオープ管理業務	367	366	-1	(7) 休耕地草刈等	1,353	1,008	-345	
3 補助金収入	25,644	26,941	1,297	(8) コウホリ飼育等	15,195	17,245	2,050	
(1) 県補助金	6,152	6,067	-85	(9) 関宿落堀ピオープ	348	347	-1	
(2) 市補助金	0	0	0	2 販売及び一般管理費	19,157	26,865	7,708	
(3) 就農支援事業	19,492	17,159	-2,333	(1) 農林業センター	2,390	2,226	-164	
(4) 転作定着化促進事業	0	0	0	(2) 人件費等	11,825	19,531	7,706	
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金	0	3,715	3,715	(3) その他	4,942	5,108	166	
4 雑収入	13,800	13,800	0					
補償料等	13,800	13,800	0					
小計	220,988	224,444	3,456	小計	227,476	227,921	445	
5 資本金・資本準備金	39,438	33,388	-6,050	3 就農支援事業費	19,492	16,130	-3,362	
				4 退職金積立金	552	468	-84	
				5 機械等購入費	12,906	13,313	407	
				6 農地取得費	0	0	0	
小計	39,438	33,388	-6,050	小計	32,950	29,911	-3,039	
合計	260,426	257,832	-2,594	合計	260,426	257,832	-2,594	